

立志 社中

プロジェクト

 高知県立大学



2017
PROJECT



「地域に学び、地域に育つ」 学生たちの教育プログラム

高知県は多くの有為な人材を生み、若者たちは世界へと雄飛していきました。日本で、そして世界で通用する人材を本学で育てたいという想いを込めて、坂本龍馬の「亀山社中」(後の海援隊)と、板垣退助らの「立志社」をあわせて、本事業を「立志社中」としました。「社中」には、「仲間」「結社」という意味があります。つまり「立志社中」とは、「将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする学生グループ」という意味です。立志社中には3つの目標があります。

一、地域の課題に高い関心を持った学生が、
地域の方々と協働して取り組む。

一、学生が地域の方々と一緒に活動することを通
じて、学内だけでは学べないことを学ぶ。

一、大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・
人づくりにつながるしくみをつくる。

立志社中は平成25年7月に6チーム、参加学生102名でスタートしました。平成29年度は10チームとなり、約360名の学生が高知県内を中心に活発に活動しています。

年間スケジュール	2017年	2018年
	4月14日～5月15日 募集期間	3月18日 活動成果報告会
	4月22日 募集説明会	3月 活動実績報告・会計検査
	5月28日 プレセッション・ 審査会	11月12日 中間報告会
	5月29日 審査結果の公表	10月28日、29日 紅葉祭(大学祭)
	6月1日、3日 合同説明会	10月 中間会計検査
	6月5日、6日 活動説明会	8月 スキルアップセミナー(予定)
	7月30日 オープンキャンパス	

2017 PROJECT

Date



チーム名(採択年度)



所属学生数



主な活動地域



代表者/所属



担当教員/所属

ごあいさつ

高知県立大学 学長

野嶋 佐由美



立志社中は、意欲ある学生とそれを支えてくださる地域の方々からご協力なくしては成り立たないプロジェクトです。地域の皆様方からの熱意ある御支援に厚く御礼申し上げます。

立志社中は、南裕子前学長と清原泰治地域教育研究センター長の創造的な発想に基づいて、地域課題に関心を持つ学生たちが結集して開始された、大学の自慢のプロジェクトです。5年前に、6チーム、参加学生102名で出発し、今年で10チーム、参加学生360名へと、活動は年々充実し活発化しております。

立志社中では、学生は、自分たちで関心のある課題を定め、企画・立案し、地域に飛び出し、地域の人々と交流しながら活動に参加しております。学生らしい視点・着想そして行動で、勇敢に地域社会に関わっているように思います。その姿に、我々教職員は時には新鮮さに驚き、微笑ましく思っているところです。それと、同じく、このような学生の活動の周辺に、あるいは背後でしっかりと支援してくださっている地域の方々を感じております。地域の方々からの多方面からのご支援に感謝しているところです。年度末には、一年間の活動成果を発表する機会が設けられておりますので、地域の方々からのご参加をお待ちしております。

本学は、平成27年創基70周年を迎えることができました。歴史を振りかえりますと、地域の人々から寛容な心で育てていただいた歴史であったことを痛感しております。開学以来、地域に根差した大学をめざし活動を続けておりましたが、このような流れを大学あげて、教職員・学生とともに推進するために、「県民大学」を標榜し、一層の飛躍を期しているところです。平成27年4月より「域学共生」の理念のもとに、「地域学概論」「地域学実習Ⅰ」「地域学実習Ⅱ」の3科目を必修化しました※。このような授業と、立志社中の活動は、相乗効果を生み、多くの学生たちが、地域に出かけ、地域の出来事に積極的に関与していくと確信しております。

学生には激励を、そして地域の方々には感謝をしつつ、立志社中の活動がさらに発展することを願っております。

※ 文化学部夜間主コースは「地域学概論」のみ必修。



01

プロジェクト名 **Shining Kochi! ~新聞ばつぐで絆づくり~**

新聞ばつぐで、つながる、つなげる

プロジェクト概要

3年目となる今年度は、地域コミュニティの活性化を目指し、津野町白石地区で新たな活動を始めます。学生が新聞ばつぐ教室を定期的に開催することで、新聞ばつぐを作りに来られた地域の方向士がつながり、学生がいなくても自然と集まることができるよう、絆づくりに取り組みます。今年度は、そこで生まれた新たな絆を地域活性化につなげることを最終目標にします。新聞ばつぐで地域の絆をつくり、高知を輝かせます!



news paper's 継続(2015年~)



11名



高知県内



岡林 香菜子 / 文化学部



清原 泰治 / 地域教育研究センター

年間スケジュール

5月~3月

旧白石小学校で新聞ばつぐ教室の開催(毎月1~2回開催)

6月~2月

認定NPO法人高知こどもの図書館で新聞ばつぐ教室の開催(2ヶ月に1回開催)

7月1日

アピリンピック高知大会で新聞ばつぐ教室の開催

8月19日

平山夏祭りでの新聞ばつぐ教室の開催

10月28日
~29日

紅葉祭で新聞ばつぐ教室の開催

11月3日
~5日

第7回しまんと新聞ばつぐコンクールへの出展参加

11月3日

しまんと新聞ばつぐインストラクター研修

時期未定

初月公民館での新聞ばつぐ教室の開催



プロジェクト名 **かんきもん**

みんなで支え合う「共生社会」を目指して

プロジェクト概要

私たちかんきもんは「子どもから高齢者、誰もが助け合い、守り、支え合う共生社会づくり」をコンセプトに、幅広い世代の方との交流を通して、楽しく安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的としています。主に「援農隊&地域交流」「学習支援」「シグマ」「若者防犯ボランティアin高知(YCPK)」「傾聴ボランティア」「タウンモビリティ」の6つの活動を行っています。



かんきもん 継続(2014年～)



69名



高知市、安芸市、四万十市、土佐町



舩谷 恭子 / 社会福祉学部



田中 きよむ / 社会福祉学部

年間スケジュール

6月

四万十市西土佐大宮地区での合宿・田植え体験・懇親会・地域活性化のティスカッション

8月

土佐町納涼祭へ参加

9月

安芸市入河内での活動
(入河内大根種植え)

10月

四万十市西土佐大宮地区での合宿・稲刈り体験・懇親会・地域活性化のティスカッション

11月

安芸市入河内での活動
(柚子収穫)

1月

安芸市の特産品を日曜日へ出店
安芸市入河内での活動
(入河内大根収穫)



03

プロジェクト名 「いでんし」プロジェクト

地域に飛び出し、 地域の課題と格闘する！

03

プロジェクト概要

活輝創生実行委員会は、高知県の中山間地域に活気を取り戻し、住民同士のつながりを再構築することを目的として発足しました。「活輝創生」には、生き活きと輝く活輝を生みだしたいという想いが込められています。私たちは発足当初からの活動スタイルである「絶対現場主義」を貫き、実際に地域に何度も足を運びます。そして、地域の課題と格闘し、目の前の課題を一つずつ着実に丁寧に地域の皆さまとともに解決していきます。

 **活輝創生実行委員会** 継続(2013年～)
  **33名**

 **香南市、佐川町、津野町**
 **西内 佐希 / 文化学部**

 **山村 靖彦 / 社会福祉学部、清原 泰治 / 地域教育研究センター**

年間スケジュール	6月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	6月3月	尾川地区環境整備 白石時間割	伝統食イベント 子育て世代との交流 平山ウォーキング	平山夏祭り 尾川地区環境整備 伝統食イベント	白石敬老会 子育て世代との交流	おがわ秋祭り 平山ウォーキング	伝統食イベント	平山マップ作成	伝統食イベント 子育て世代との交流	尾川地区環境整備	伝統食イベント	おがわ桜祭り



04

プロジェクト名 ボランティア社中

楽しいから始まる防災を大切に!

04

プロジェクト概要

イケあい地域災害学生ボランティアセンターは、「災害時に大学周辺地域での被害が最小限にとどまり、いち早く復旧できる」ことを目的としています。そのために普段から地域に入り、防災活動や顔の見える関係づくり、災害ボランティアセンター運営の研修を行っています。地域、他大学、行政、企業などと連携し、ネットワークを拡大しながら、活動を展開しています。継続して活動をするにより、地域の防災力を高めていきます。



イケあい地域災害学生ボランティアセンター 継続(2013年～)



69名



高知市、南国市、黒潮町



大岡 千紘 / 看護学部



竹崎 久美子 / 看護学部

年間スケジュール

5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月
ごめん祭出店 手浴の実施 ディスプレイスやよいにて	災害サークル交流会 in 高知開催	VC模擬訓練 in 三里地区開催	全国防災サミット実施	三里区民運動会へ参加 高知医療センターとの合同災害訓練でVC模擬訓練を実施予定	みさとフェア出店 黒潮町防災ツアー開催 へ参加	高知市仁井田東町合同防災訓練 朝倉防災展開催 DoNabenet in 高知開催



05

プロジェクト名 **それいけ!大野見エコ米 ~No Rice, No Life~**

それいけ!大野見エコ米

05

プロジェクト概要

中土佐町大野見地区で、おのみエコロジーファーマーズの方々が環境に配慮して生産している大野見エコ米のPRを通して、大野見地区の地域活性化につなげること、また、年に6回の勉強会を定例会の場で設けることで、お米に対する知識を高め、日本人の主食であるお米のおいしさを伝えることを目的としています。また大量調理や栄養計算など大学での学びを活かし、管理栄養士を目指す私たち自身も成長できるような活動をしています。



COME☆RISH 継続(2013年～)



58名



高知市、中土佐町



古木 麻優 / 健康栄養学部



沼田 聡 / 健康栄養学部、田中 守 / 健康栄養学部
隅田 有公子 / 健康栄養学部、島田 郁子 / 健康栄養学部

年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1月
ローソン高知・株アピタ企画とのコラボ弁当メニュー考案	ローソン高知・株アピタ企画とのコラボ弁当材料組み合わせ決定	田植え	圃場の水生生物調査・大野見散策・朝食料理教室企画 (大野見小学校・大野見中学校)	紅葉祭の企画 朝食料理教室の準備	ローソン高知・株アピタ企画とのコラボ弁当完成・朝食料理教室の開催・紅葉祭の準備 定食屋企画	稲刈り、新米フェスタへ参加、紅葉祭へ参加・定食屋準備	官能検査・定食屋開催	読遊会さん訪問



06

プロジェクト名 Revolution ～地域の力を引きだして～

学生と住民が一体となった地域づくり

プロジェクト概要

Pシスターズは、東部から西部にかけてさまざまな地域に出向き活動をしています。そこで地域住民との交流や行事への参加を通して地域の声を拾いながら、住民が主体となる地域づくりを大学生と地域住民が一体となって取り組んでいます。福祉課題にも打ち勝てるような住民の強いパワーを引き出し、地域の特性に合った生活の質をより良い方向に変革できるよう、これまでのつながりや絆を基盤に活動を展開していきます。



Pシスターズ 継続(2014年～)



10名



安芸市、土佐清水市、奈半利町、本山町、佐川町、津野町、三原村



山口 由貴 / 社会福祉学部



田中 きよむ / 社会福祉学部

年間スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	
津野町郷地区 長沢の滝一斉清掃 手伝い 本山町汗見川地区 運動会参加・ 手伝い	健康体操創作 三原村 P R 動画撮影 夏祭り企画・参加 奈半利町平松地区	津野町郷地区 集落活動センターを拠点とする 活動等、地域の方との協議	土佐清水市斧積地区 ふるさと元氣市の特産品販売 を企画、実施	一人暮らし高齢者への声掛け 見守り隊の活動企画・協力 土佐清水市斧積地区	安芸市東川地区 運動会参加 三原村 総社祭参加	安芸市東川地区 獅子舞の継承 記念イベントに参加	佐川町佐川地区 佐川夢まちランド創立1周年 記念イベントに参加	奈半利町平松地区 支えあいマップ作りの見直し



07

プロジェクト名 香美市の民具調査

地域とともにZEROから行動!

07

プロジェクト概要

私たちfrom ZEROは民具を記録・保存し調査することで、歴史や文化を次世代へつなぎ、地域の持つ魅力を多くの人に知ってもらうことを目的としています。今年度は香美市での民具調査を中心に活動します。活動内容としては、作成されている民具カードをもとに、民具の名称や方言呼称、使い方について聞き取り調査を行います。また、次年度に予定している共同調査や展示会のための民具の選定や整理も進めていきます。



from ZERO 継続(2013年～)



6名



香美市



脇坂 美穂 / 文化学部



橋尾 直和 / 文化学部

年間スケジュール

6月11日
～12日

域学共生フィールドワークを援用する
物部町の民俗資料一般公開での聞き取り調査
言語調査

7月15日

大豊町 定福寺の民俗資料館を見学

7月16日

企画展「きび」と高知のくらしー昔ながらのトウモロコシーの見学

10月以降

活動報告書(パンフレット)の作成
民具カードの整理
香美市の民具の方言呼称調査
言語調査



08

プロジェクト名 池地域まるごとサロン活動

地道にコツコツ 住民の方一人一人を大切に

08

プロジェクト概要

私たちの活動の拠点である池地域には、学生と住民の方が触れ合う機会が少なく、私たちが住民の方と集まる場を作ろうと「いけいけサロン活動」が始まりました。昨年度は個別訪問サロンや災害についての活動を行い、今年度からはそれに加え住民の方と学生がお互いに原動力となるように活動をしていきます。これからも一つ一つのつながりに感謝し、私たちらしい活動を続けていきます。



いけいけサロン活動 継続(2015年～)



18名



高知市



曾我 明日香 / 看護学部



川本 美香 / 看護学部

年間スケジュール

5月～3月	6月	8月	10月	12月	2月
個別訪問サロン実施 池公民館サロン実施	関連機関での平成28年度の 活動報告会 女性防災プロジェクトへの参加 高知市地域サロンでの サロン研修(さわやか高知)	池のくらし発刊(第二号) 女性防災プロジェクトへの参加	女性防災プロジェクトへの参加 活動の中間報告 (高知医療センター)	女性防災プロジェクトへの参加	池のくらし発刊(第三号) 女性防災プロジェクトへの参加 2月上旬 活動の中間報告 (高知医療センター)



09

プロジェクト名 **健援隊プロジェクト**

難しいことを分かりやすく

09

プロジェクト概要

健援隊には「健康を応援する、健康になるように援助する」という思いが込められています。その使命は看護の知識を分かりやすく伝えることです。そこで健援隊は楽しみながら学ぶことをモットーに漫才やコントを取り入れ、分かりやすく伝える工夫をしています。活動としては、毎年行っているよさこい祭りでのうちわ配りや日曜日でのAED・胸骨圧迫の講習に加え、今年度は高知工科大学とコラボし、神池地区で活動をしていきます。



健援隊 継続(2013年～)



68名



高知市、香美市



山口 央人 / 看護学部



井上 正隆 / 看護学部

年間スケジュール

5月

普通救命講習受講

6月～2月

健康教育実施

7月

よさこい祭り練習先訪問

8月

よさこい祭りでの
熱中症予防活動

10月

災害訓練時の
災害看護救護活動



10

プロジェクト名 **こどもの居場所づくり**

10

第2のおうち

プロジェクト概要

チーム名の由来は「こどもたちの明るい未来のために学生自身が考える塾」です。こどもたちの「居場所の貧困」に目を向け、こどもの居場所「すぴか」が始まりました。ここでは地域のこどもたちが気軽に来られる場所「第2のおうち」となることを目指しています。すぴか以外では、ボランティアとしてこどもたちと、遊び、料理、勉強などに関わり、地域の「こどもの居場所づくり」に貢献するような活動を行っています。



☆こどもみらい塾☆ 新規(2017年～)



19名



高知市、香美市



上野 美紀 / 健康栄養学部



加藤 由衣 / 社会福祉学部

年間スケジュール

6月～3月

- こどもの居場所運営
- ・すぴか(月1回)
- こども食堂
- ・ボランティア
- ・まある(月1回)
- ・きてみい家(月2回)

6月～7月

- 学習支援ボランティア
- ・サポートスペース
- (月2回)
- (太平洋学園高等学校)



卒業生から
在校生へ

message

立志社中を経験して社会で活躍中の卒業生に聞いてみました。

社会福祉法人 四万十市 社会福祉協議会



永吉 史果

活輝創生実行委員会所属
社会福祉学部／平成28年度卒業

学んで、考えて、挑戦して、
そして楽しんで!

私は今、四万十市の社会福祉協議会で生活支援コーディネーターをしています。地域の声や住民のニーズに対応するために社会資源を調整し、課題解決を図る仕事です。立志社中の活動の中では、多くの人とコミュニケーションをとり、その声を拾って形にすることを実践的に学びました。「地域の主役は地域住民」この考えは今の仕事にも通じますことです。学生本位ではなく、地域住民の声にもとづいて地域のひとと“協働”するという活動を経験できたことは今の私にとって大きな財産となっています。

株式会社 サニーマート



式地 麻湖

COME☆RISH所属
健康栄養学部／平成28年度卒業

一人一人の小さな力で、
大きな花を!

立志社中では、さまざまな世代や立場の方々と関わったり、自分の考えを発言したりする機会を多くいただいたことで視野が広がり、社交性も身に付きました。それが、現場での接客サービスや人間関係の形成に結びついているように感じます。また、社会人になると、常に目的・目標を持つことや、自分で考え行動する力が大いに求められます。ですので、自分たちの活動は何のためにやるのかをしっかり考え、全員で共有しながら色々なことにチャレンジしてほしいと思います。

高知県立大学

お問い合わせ
高知県立大学地域教育研究センター

〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号
永国寺キャンパス地域連携棟3階
TEL:088-821-7125 FAX:088-821-7126
MAIL:risshi@cc.u-kochi.ac.jp



池キャンパス



永国寺キャンパス